

場所 : 上海市 上海中医薬大学曙光病院  
期間 : 2019.3.13~14  
参加者 : 西野裕一

## 中国上海研修・講演 報告

### 3月13日（水）上海中医薬大学曙光病院にて病院見学および講演会の開催

参加対象者は生殖医療の従事者で、日本での不妊治療の取り組みについて講演するとともに、最新情報の意見交換を行うことができました。



#### ①吉田 淳先生（英語講演）

医療法人社団 生新会 理事長・木場公園クリニック院長・産婦人科医

生殖医療専門医・臨床遺伝専門医・MBA

テーマ：木場公園クリニックにおける最新不妊治療

概要：講演の中で木場公園クリニックでの治療成果や臨床データの紹介、受精卵観察培養 time laps system の紹介等をご紹介されました。

男性、女性ともに子供を希望する年齢が高くなると、男性では精子数や精子の質が低下し、女性では卵子数や卵子の質が低下するため、不妊症が増加することになります。そのため吉田先生

は、夫婦同時治療の重要性と必要性を説明されました。体外受精を実施する上で一番重要なことは「安全第一」とのこと。そして「一胚入魂」の思いで日々の治療を行っている先生の精神を講演され、多くの参加者の賛同を頂きました。

講演の中、ART の成績を決定する 6 つの柱を紹介されました。6 つの柱とは、①ART 実施前検査、②卵巣の予備能力を評価した適切な卵巣刺激、③採卵、④培養室業務、⑤胚の選別と胚移植、⑥黄体補充です。この大きな柱のうち、どの柱がかけても良好な分娩率を得ることができないということでした。

参加者は熱心に耳を傾けており、特に Th1/Th2 検査に関して質問が多かったです。



## ②西野 裕一（日本語講演：白芳先生中国語通訳にて）

(株)誠心堂薬局 代表取締役・日本中医学会理事・中国漢方普及協会会長

薬剤師・鍼灸師・国際中医師認定 A 級

テーマ：不妊治療と三焦調整法

概要：誠心堂グループが鍼灸治療の臨床にて取り入れている三焦調整法による不妊症治療の紹介を行いました。

現代では、食事の乱れ、夜更かしなど生活習慣の変化から、体の中焦（肝、胆、脾、胃など）の運化と疎泄が悪くなっています。そのため正常な三焦上下交通が上手くできなくなり、「上熱下寒」の症状が発生しやすくなります。その結果、体の不調だけではなく、骨盤の血流が悪くなり、卵子の質への影響がでていと考えられます。以上から、西野先生は不妊治療における三焦調整の重要性を強調されました。誠心堂グループでは、三焦調整理論を取り入れた漢方治療と鍼灸治療の併用治療を行った結果、妊娠率の向上と流産率の低下が明らかに見られました。さらに、日本では昔から重視されている「腹診」について紹介されました。

参加者からは、三焦調整法の取穴原則に関して質問が多く、経絡による取穴と臨床症状による取穴の効果に対して意見交換し検討しました。次回の実演されることを望まれました。

### ③严骅先生（中国語講演）

上海曙光医院东院生殖医学中心 副主任醫師 元誠心堂薬局中医学アドバイザー

テーマ：中医薬は IVF 治療における応用について

概要：高度生殖医療と中医学治療の併用によって良好な結果が得られたデータを発表されました。

講演は、IVF 治療中に同時に行う補腎薬の効果についてお話しをされました。老中医の経験処方「補腎育胎方」（熟地黄、黄耆、党参、補骨脂、菟絲子など）を低刺激治療の際に併用した場合、子宮血流改善と子宮の形態と血流改善に対して良い効果が得られたそうです。採卵周期の際に、中医薬の併用することで採卵数、受精数、良質受精卵数が、ホルモン剤のみ単独使用した対照組より良好な結果が得られたとのことでした。その他、「経皮ツボ電刺激方法」を用いると子宮内膜血流改善され、さらに中医薬の「補腎活血法」と「温灸法」を行って移植を繰り返しても着床しない患者に対する治療効果改善の実験データを発表されました。



### ④孫建明先生（中国語講演）

上海中医薬大学附属第七人民医院优秀教研室主任

テーマ：男性不妊患者の年齢と精子 DNA 断片化指数と精液検査の関連性

概要：男性不妊含む精子の DNS 断片化率検査とその中医学的治療の詳細（生精湯 1～3 号などの中医処方・臍への外治治療の紹介など）

精子 DNA 断片化が多い患者では血脈瘀阻のケースが少ないため、補腎と同時に活血化瘀の中薬がよく使われているそうです。臨床上よく使っている経験処方である補腎活血益気養陰の「生精湯」、益気温陽生精の「生精 2 号方」、陰陽双補益腎生精の「生精 3 号方」などが精子の濃度、運動率、DNA 断片化の改善において良い結果が得られているとのことでした。その他、経験処方の「臍療法」と「中薬定向療法」（中薬経皮吸収効果を利用する）を紹介されました。現在は、腎虚血瘀型精子奇形に対して臨床研究を展開されているそうです。中医学のデータ化にも力を入れていらっしゃいます。

## ⑤陳 向鋒先生（英語講演）

上海市人類精子庫生殖男科專家副主任醫師

テーマ：男性不妊治療は高度不妊治療における作用と展望

概要：精巣内精子採取法（TESE）（mTESE）ICSI-ET の技術紹介、陳先生が勤務されている Shanghai Human Sperm Bank についての紹介などを講演いただきました。

年間大量な手術を行われているため、豊富な経験に基づいたお話しでした。精巣内精子採取手術と精子冷凍、新しい技術は精子 DNA への影響なども検討されました。中国では ART 治療を受ける前提の卵子凍結が認められており、それに合わせた男性不妊患者の手術治療の現状などについても紹介してくださいました。今後、西洋治療だけではなく、中医薬を治療中に取り入れることに意欲を示されました。

## 参考リンク（中国語）

<まとめ>

今回のセミナーでは、中日両国の不妊治療の現状、効果、展望、今後の課題に関してなど多方面から素晴らしい交流を持つことができました。中医薬治療、鍼灸治療を ART 治療中に実施することについての重要性が再度確認されました。

2019 年 4 月 10 日

報告者 誠心堂薬局

白芳・西野星彦